

2025年度（令和7年度）

まちづくりネット 第2回連絡会議

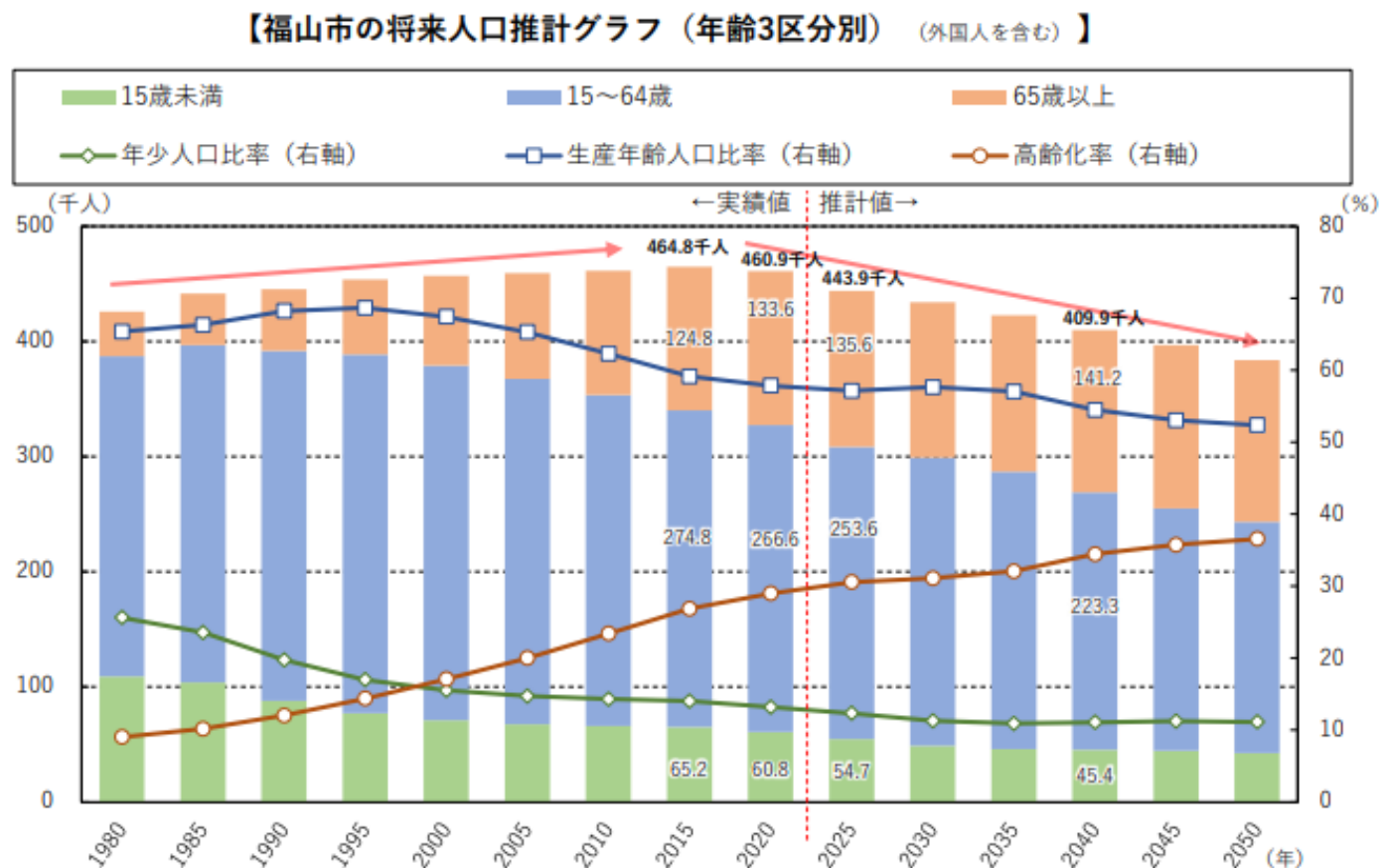
2025年(令和7年)12月19日（金） 10：00～11：30

福山市役所 9階 北側多目的室

1 本市の現状

(1) 本市人口の推移

- 国勢調査における本市の人口は、**2015年の約46万人**をピークに、以降減少している。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計（中位推計）によると、**2040年には約41万人**まで減少すると予測されている。



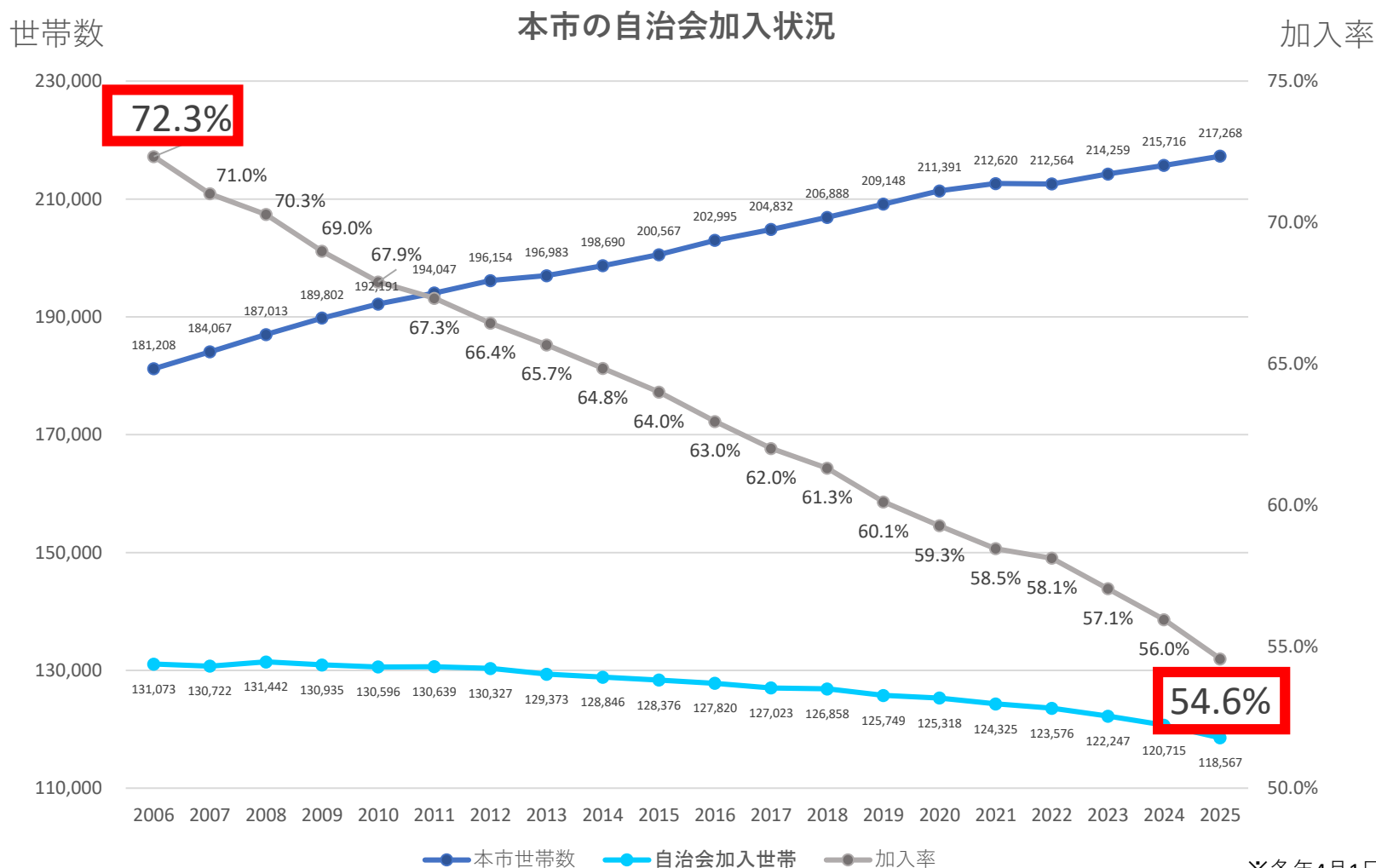
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（令和5年推計）

※2020年（令和2年）までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年（令和7年）以降は推計値

(2) 世帯数、自治会加入率の推移

- 人口が減少する一方、本市の世帯数は右肩上がりとなっている。
- 自治会の加入率は、2006年の「72.3%」から2025年の「54.6%」まで低下している。

(※加入率 = 自治会加入世帯 / 本市世帯数)

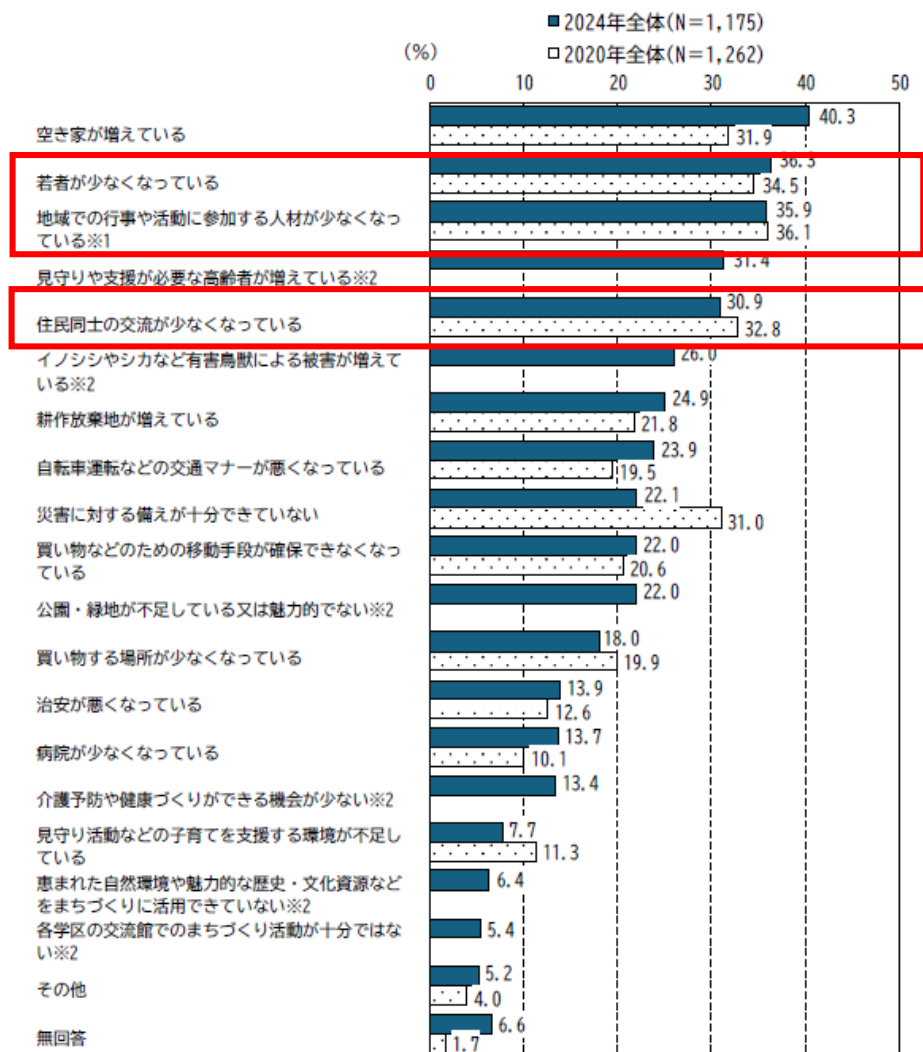


(3) 地域活動に関する各種アンケート結果(抜粋)

図 6-2 地域で問題や不安を感じること

(ア) 地域で問題や不安を感じること

- 地域で問題や不安を感じることに
ついては、「若者が少なくなっている
(36.3%)」、「地域での行事や活動に参
加する人材が少なくなっている
(35.9%)」、「住民同士の交流が少なくな
っている」(30.9%)が上位となっ
ており、地域コミュニティの希薄化が続
いている。



※1 2020年調査では「地域での活動に参加する人材が少なくなっていること」

※2 2024年調査からの新規項目

(イ) 地域活動への参加状況

- 「自治会、町内会活動」(47.5%)、「趣味などの同好会活動」(11.5%)、「PTAやこども会活動」(8.1%)が上位の項目となっている。
- 「参加していない」と「無回答」を合わせると、約4割となることから、約6割の人が何らかの地域の活動に参加している。
- 30歳代以下では「参加していない」が4割を超えており、地域活動への参加率が少なくなっている。

図 6-3 地域活動への参加状況

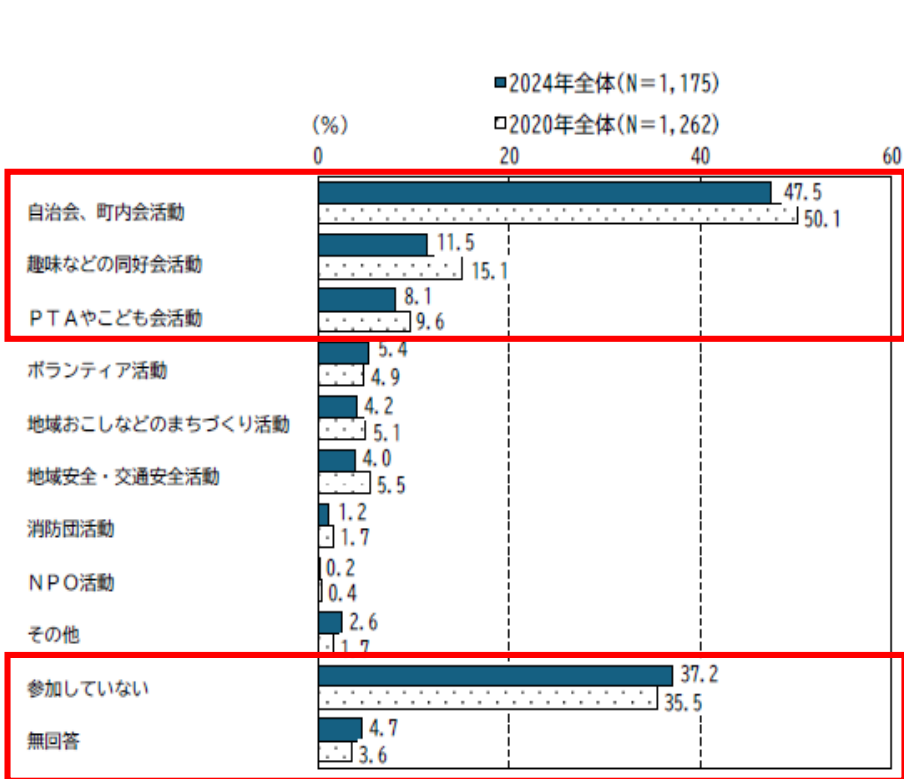


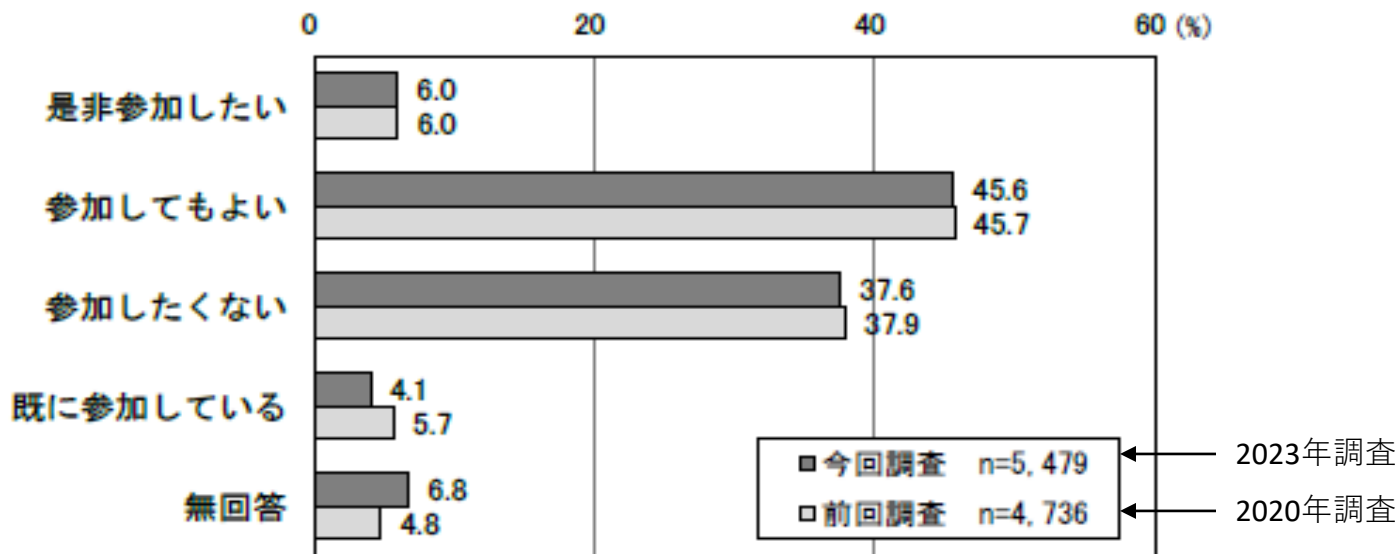
表 6-3 地域活動への参加状況 (性別・年代別・地区別)

	調査数	自治会、町内会活動	趣味などの同好会活動	PTAやこども会活動	ボランティア活動	地域おこしなどのまちづくり活動	地域安全・交通安全活動	消防団活動	NPO活動	その他	参加していない	無回答
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
全体	1,175	558	135	95	64	49	47	14	2	30	437	55
	100.0	47.5	11.5	8.1	5.4	4.2	4.0	1.2	0.2	2.6	37.2	4.7
性別												
男性	437	209	37	32	25	24	19	10	-	14	173	14
	100.0	47.8	8.5	7.3	5.7	5.5	4.3	2.3	-	3.2	39.6	3.2
女性	503	232	65	54	23	13	18	2	2	11	192	20
	100.0	46.1	12.9	10.7	4.6	2.6	3.6	0.4	0.4	2.2	38.2	4.0
その他・答えたくない	7	2	-	1	-	1	-	-	-	-	3	1
	100.0	28.6	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	42.9	14.3
年代別												
20歳以下	77	13	6	3	3	2	1	1	-	-	53	3
	100.0	16.9	7.8	3.9	3.9	2.6	1.3	1.3	-	-	68.8	3.9
30歳代	132	54	5	29	-	3	5	1	-	2	61	3
	100.0	40.9	3.8	22.0	-	2.3	3.8	0.8	-	1.5	46.2	2.3
40歳代	150	73	10	47	3	6	6	10	-	1	50	3
	100.0	48.7	6.7	31.3	2.0	4.0	4.0	6.7	-	0.7	33.3	2.0
50歳代	175	94	9	11	-	1	4	1	-	4	69	5
	100.0	53.7	5.1	6.3	-	0.6	2.3	0.6	-	2.3	39.4	2.9
60歳代	223	109	19	2	16	8	5	-	-	4	88	6
	100.0	48.9	8.5	0.9	7.2	3.6	2.2	-	-	1.8	39.5	2.7
70歳代	259	144	52	2	29	20	19	1	1	12	65	17
	100.0	55.6	20.1	0.8	11.2	7.7	7.3	0.4	0.4	4.6	25.1	6.6
80歳以上	149	68	32	1	13	8	6	-	1	7	48	16
	100.0	45.6	21.5	0.7	8.7	5.4	4.0	-	0.7	4.7	32.2	10.7

(ウ) 参加者として地域活動に参加したいか

- 65歳以上の高齢者の内、「是非参加したい」が6.0%、「参加してもよい」が45.6%で、合わせて『参加意向あり』が51.6%となっている。「参加したくない」が37.6%で、『参加意向あり』とともに前回調査とほぼ同程度となっている。
- 「既に参加している」が4.1%で、前回調査に比べ1.6%減少している。

図1 地域活動への参加意向



資料：福山市高齢者保健福祉計画2024策定に係る高齢者の暮らしについての実態調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）
結果報告書（2023年（令和5年）8月） ※要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者が対象

2 まちづくりネット各団体の事業・取組

(1) 各団体の活動目的 ※まちづくりネット第1回連絡会議の資料より (各団体の会則や規約などに定める目的から引用)

団 体 名	活 動 目 的
福山市子ども会育成協議会	子ども会育成指導について協議し、発展強化のために必要な共同事業を企画するとともに、子ども会相互の連絡調整と交換を図ること。
福山市自治会連合会	学区（地区・町）自治会（町内会）連合会相互の連絡、環境の整備、良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行うこと。
福山市女性連絡協議会	女性の教養及び地位の向上、青少年の健全育成、人権尊重、家庭並びに社会における民主的生活の実践、地域社会の福祉増進、国際化と世界平和の確立等に努め、男女共同参画による活力と個性豊かな地域社会を建設すること。
福山市 P T A 連合会	各単位 P T A 相互の連絡及び提携並びに会員の教養向上を図ることにより、児童及び生徒の健全な成長に資すること。
福山市老人クラブ連合会	老人福祉法の趣旨に則り、市内の老人クラブ相互の密接な連携を保ち、広く老人福祉の向上並びに明るい社会の建設に寄与すること。
福山文化連盟	福山地方の文化を高めることを目的とし、会員相互の親睦および連絡調整をはかる。
福山市老人大学	高齢者が健やかで生きがいを持つための生涯学習の場とするとともに、老人クラブを始め、地域におけるリーダーを育成し、明るいまちづくりをめざす。
福山明るいまちづくり協議会	市民憲章の主旨に則り、公德心豊かな市民憲章の高揚を図り、潤いのある明るく住みよいまちづくりを積極的に推進すること。

(2) まちづくりネット各団体の主な事業概要

団体名	事業名	事業内容	目的	参加対象者
福山市 子ども会 育成協議会	少年少女親善球技大会 中国新聞社旗少年少女親 善球技大会	学区対抗による球技大会 (少年：ソフト、少女： フット)	こどもの健全育成	会員
	ジュニアリーダーズの研 修	こども会活動でこどもたち への指導・助言ができるよ う研修を実施	リーダー人材の育 成	会員
福山市 自治会連合会	安心・安全のまちづくり きれいで快適なまちづく り	防災訓練、登下校見守り 道路、公園、川などの清掃 活動、ゴミステーションの 設置・管理など	安心・安全で明る く住みよいまちづ くり	市民
	会報発行・HPの運営	行事、お知らせを情報更新	自治会の認知度向 上	市民
福山市 女性連絡 協議会	こども体験「綿菓子づく り」福山ばら祭協賛	ばら祭会場において体験 ブース出展	青少年の健全育成、 団体の認知度向上	市民
	原爆・福山戦災死没者慰 霊式 折り鶴献納	慰霊式で折り鶴を献納	世界平和への祈り	市民

団体名	事業名	事業内容	目的	参加対象者
福山市 PTA連合会	PTA会長意見交換会（小学校部門・中学校部門）	各学区PTAの会長から課題や意見を取りまとめ、教育委員会等に要望	PTA活動環境の改善・活性化	役員
	市P連ブロック協議会別親善球技大会（ソフトボール・ソフトバレー）	各ブロック（21ブロック）対抗による球技大会	会員の親睦・交流	会員
福山市 老人クラブ 連合会	県地域指導者講習会	各学区老人クラブの事例紹介や講演など	クラブ活動の維持・活性化	役員
	福祉大会／芸能祭	福祉大会：優良介護者・百寿者・永年勤続者などの表彰 芸能祭：教養趣味講座及び、市老連女性委員会有志・学区希望団体による発表（踊りや歌など）	福祉大会：老人クラブ会員の経験・知識を明るく活力のある社会づくりにつなげる 芸能祭：活動の認知度向上	市民

団体名	事業名	事業内容	目的	参加対象者
福山文化連盟	福山ばら祭文化祭	カラオケ大会・書道展・美術展・茶席など	会員の活動PR 団体の認知度向上	市民
	福山総合文化祭	福山美術協会公募展、文連日本画展、芸能大会など	会員の活動PR 団体の認知度向上	市民
福山市 老人大学	各種講座	書道、コーラス、水墨画、フラダンス、パソコン、スマホなど	高齢者が健やかで生きがいを持つための生涯学習の場 地域におけるリーダーを育成	学生
	学生祭	学生による展示、ステージ発表や、市老連によるバザー、地元事業者による出店	学生たちの学習の成果発表の場 大学の認知度向上	学生 市民
福山明るい まちづくり 協議会	市民憲章の普及と啓発	・市内小学生に市民憲章啓発文具の配布 ・善行市民表彰の際に小学生による市民憲章音読など	市民生活の規範である市民憲章を広く周知する	市民
	ばらの普及推進 環境美化活動	ばら花壇コンクール、各種ばら講習会 芦田川一斉清掃 など	ばらのまち福山の機運醸成 地域環境を美しくする	市民

(3) 各団体が抱える課題

団体名	課題
福山市 子ども会育成協議会	子ども会育成協議会への <u>加入学区が減少</u> している（2020年度66学区→2024年度49学区）。合わせて <u>会員数も毎年2,000人から3,000人減少</u> している。人口減少と役員の負担（動員など）が原因と考えられる。
福山市自治会連合会	<u>自治会加入率が低下</u> し、 <u>担い手も不足</u> している。 役員の高齢化により、デジタル化が進まない。
福山市 女性連絡協議会	<u>会員数の減少</u> に伴い、資金も減少。団体として約70年の歴史があるから活動が続けていきたいが、人やお金がなく持続が困難になっている。
福山市PTA連合会	PTA連合会への <u>加入学区が減少</u> している（2020年度107校→2024年度98校）。合わせて <u>会員数も毎年400、500人減少</u> している。 人口減少と役員の負担が原因と考えられる。
福山市 老人クラブ連合会	市老連への <u>加入学区が減少</u> している（2020年度59学区→2024年度52学区）。 会員の高齢化に伴う役員（会長）の <u>担い手不足</u> 。
福山文化連盟	人口減少もあり、文化活動に興味を持つ <u>若者が減少</u> している。
福山市老人大学	多世代との交流がほとんどない。老人大学の活動について、広く市民に認知されていない。
福山明るいまちづくり協議会	<u>会員数が減少</u> している。また、他団体との事業連携が柔軟にできておらず、縦割りの文化が根強くある。

3 課題解決に向けた可能性の検討

(1) 意見交換

【テーマ】

「会員数の減少」「担い手不足」という課題があるなか
持続可能な活動のために考えられる取組について
(活性化や負担軽減など)

例えば・・・

- ①**団体間の連携**
- ②**多様な主体（企業や学生、ボランティア団体など）の連携**
- ③**活動におけるデジタルの活用**
- ④**類似事業の見直し、再構築 など**

【参考】 課題解決に向けた取組の方向性

- 2019年3月に出された「福山市持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議 提案書」では、持続可能な地域コミュニティが形成されることをめざし、取組の方向性が提案された。

- 1 多様な主体が力を発揮できる地域づくりの検討
(みんなで取り組む地域づくりへの転換)
- 2 複雑化した地域自治組織のスリム化, 各種団体役員のあり方や効率的な組織運営の検討
(地域組織・協議体の再構築, 会議や情報伝達方法の研究)
- 3 行政から地域への依頼事項の抜本的な見直し
(地域への負担の軽減)
- 4 行政による地域支援体制の再構築・強化
(庁内連携, 職員の意識改革・地域コミュニティ支援方法の確立)

4 アドバイザー・視察先の検討

【テーマ】

話を聞いてみたい・視察してみたい取組分野について

例えば・・・

- ①団体間や多様な主体の連携
- ②ICT化の取組
- ③団体の事務の見直し など

○まちづくりネット第3回連絡会議（予定）

日時：2026年1月28日（水） 14：00～15：30

場所：福山市役所9階 北側多目的室

○まちづくりネット第4回連絡会議（予定）

日時：2026年2月25日（水） 14：00～15：30

場所：福山市役所9階 北側多目的室

○まちづくりネット第5回連絡会議（予定）

日時：2026年3月25日（水） 14：00～15：30

場所：福山市役所9階 北側多目的室

第3回以降の連絡会議は「**毎月第4水曜日**」の定例開催を予定